



# 株主のみなさまへ

第108期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**

# 株主のみなさまへ

---



会長 野村 哲也



社長 宮本 洋一

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
第108期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）上半期の、  
当社グループの業績及び活動の概況についてご報告申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ相変わりがせぬ  
ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

取締役会長

野村 哲也

取締役社長

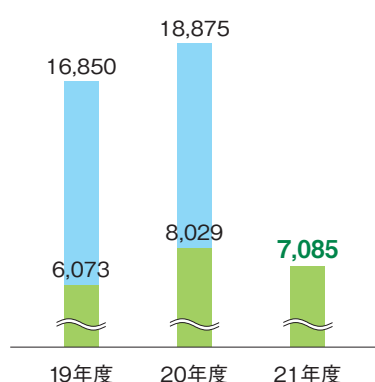
宮本 洋一

# 決算ハイライト

## 連結売上高

**7,085**億円

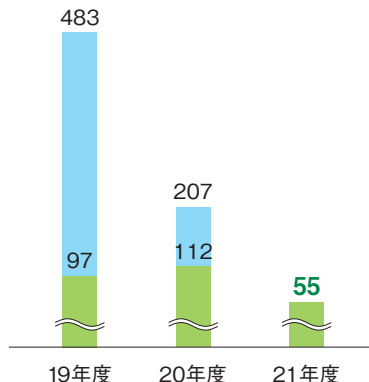
前年同期比 △11.8%



## 連結経常利益

**55**億円

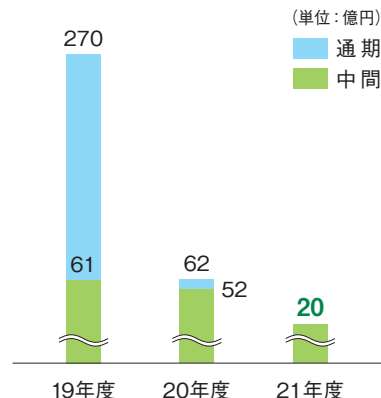
前年同期比 △50.6%



## 連結当期純利益

**20**億円

前年同期比 △60.7%



(単位: 億円)  
■ 通期  
■ 中間

当上半期は、昨年来の世界経済の急速な後退を背景に、企業収益が著しく悪化するなど、景気は極めて厳しい局面が続きました。

建設業界においては、住宅・不動産市場の低迷、企業の設備投資の縮小に歯止めがかからない中、官公庁工事も減少に転じ、業界全体の受注高は、前年同期を大幅に下回る水準で推移しました。こうした市場の急速な縮小により、受注競争はさらに熾烈化し、経営環境は一段と厳しさを増しました。

このような状況のもと、当上半期の売上高は、開発事業等

売上高が大幅に減少したことなどにより、前年同期に比べ11.8%減少し7,085億円となりました。

利益については、工事採算は改善しましたが、当社の附帯事業総利益の減少などにより、経常利益は前年同期に比べ50.6%減少し55億円となり、当上半期の純利益は20億円となりました。

また、中間配当金は、1株につき3円50銭といたしました。

なお、連結有利子負債の残高は、前期末に比べ67億円減少し4,846億円となりました。

# 事業の概況 (連結及び単体)

## 連 結

### 当上半期の事業別連結業績

|         |         |                  |
|---------|---------|------------------|
| 売 上 高   | 7,085億円 | 前年同期比<br>△11.8%  |
| うち 建設事業 | 6,738億円 | △ 5.0%           |
| 開発事業    | 149億円   | △71.8%           |
| その他の事業  | 198億円   | △51.4%           |
| 売上総利益   | 391億円   | 前年同期比<br>△11.5%  |
| うち 建設事業 | 386億円   | +18.7%           |
| 開発事業    | △ 9億円   | —                |
| その他の事業  | 14億円    | △50.1%           |
| 有利子負債残高 | 4,846億円 | 21年3月末比<br>△67億円 |

### 通期の連結業績見通し

|         |           |                   |
|---------|-----------|-------------------|
| 売 上 高   | 1兆6,000億円 | 前 期 比<br>△15.2%   |
| 経常利益    | 170億円     | △18.2%            |
| 当期純利益   | 80億円      | +27.2%            |
| 有利子負債残高 | 4,500億円以内 | 21年3月末比<br>△413億円 |

### ■建設事業

売上高は、前年同期に比べ5.0%減少し6,738億円となったものの、工事採算が改善したことなどから、利益は前年同期に比べ18.7%増加し386億円となりました。

|          |                                                                               |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 主要な連結子会社 | (株)東京鐵骨橋梁 片山ストラテック(株) 第一設備工業(株)<br>(株)シミズ・ビルライフケア シミズ・ノースアメリカLLC 清水建設(中国)有限公司 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------|

### ■開発事業

当上半期には大型投資開発プロジェクトの売上計上がなかったことや、たな卸不動産の評価損を計上したことなどから、売上高は前年同期に比べ380億円減少し149億円、利益は前年同期に比べ97億円減少し、損の9億円となりました。

|          |           |
|----------|-----------|
| 主要な連結子会社 | 清水総合開発(株) |
|----------|-----------|

### ■その他の事業

主として建設事業、開発事業に附帯関連する事業活動を展開しており、売上高は198億円、利益は14億円となりました。

|          |                                                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 主要な連結子会社 | (株)ミルックス (株)エスシー・マシーナリ<br>シミズ・ファイナンス(株) シミズ・インターナショナル・ファイナンス(U.S.A.)社 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|

### ■通期の業績見通し

下半期の経済環境は、総じて厳しい局面が続くものと予想され、建設業界においても、公共投資の先行きが不透明な中、住宅・不動産投資、企業設備投資は引き続き減少傾向が予測されるなど、建設市場は一層厳しさを増すものと思われます。

このような経営環境のもと、平成21年度通期の連結業績は、売上高1兆6,000億円(前期比△15.2%)、経常利益170億円(前期比△18.2%)、当期純利益80億円(前期比+27.2%)を見込んでおります。

また、連結有利子負債の残高は、4,500億円以内を見込んでおります。

# 単 体

## 当上半期の当社単体の業績

|         |         |                   |
|---------|---------|-------------------|
| 受注（契約）高 | 4,927億円 | 前年同期比<br>△32.2%   |
| 売 上 高   | 6,647億円 | △ 7.1%            |
| 経 常 利 益 | 48億円    | △52.1%            |
| 当期純利益   | 21億円    | △62.9%            |
| 有利子負債残高 | 4,037億円 | 21年3月末比<br>△130億円 |

## 受注工事の主なもの

|          |                                         |                      |
|----------|-----------------------------------------|----------------------|
| 建築<br>工事 | 三菱地所株式会社<br>住友信託銀行株式会社<br>株式会社三菱東京UFJ銀行 | (仮称)丸の内1-4計画新築工事     |
|          | 日本赤十字社                                  | 足利赤十字病院施設整備事業        |
|          | シンガポール国立大学                              | 大学院用住宅新築工事           |
| 土木<br>工事 | マレーシア政府                                 | バハン・セランゴール導水トンネル工事   |
|          | 東京ガス株式会社                                | 扇島工場TL22LNG地下式貯槽建設工事 |

## 完成工事の主なもの

|          |                  |                     |
|----------|------------------|---------------------|
| 建築<br>工事 | シャープ株式会社         | 薄膜シリコン太陽電池工場建設工事    |
|          | 有限会社大手町開発        | 経団連会館新築工事及び日経ビル新築工事 |
|          | 日産自動車株式会社        | 日産グローバル本社新築工事       |
|          | 大崎駅西口中地区市街地再開発組合 | 大崎ウエストシティタワーズ新築工事   |
| 土木<br>工事 | シンガポール共和国政府      | ボンゴール貯水池工事          |

## ■受注（契約）高

当社単体の受注（契約）高は、前年同期に比べ32.2%減少し4,927億円となりました。その内訳は、建設事業98%、附帯事業2%です。

建設事業受注高は、建築工事が減少したことなどから、前年同期に比べ28.5%減少し4,845億円となりました。

また、附帯事業の契約高は、前年同期に比べ407億円減少し82億円となりました。

## ■売上高

売上高については、前年同期に比べ7.1%減少し6,647億円となりました。その内訳は、建設事業98%、附帯事業2%です。

完成工事高は、土木工事は増加したものの、建築工事が減少したことから、前年同期に比べ1.8%減少し6,543億円となりました。

また、附帯事業売上高は、前年同期に比べ384億円減少し103億円となりました。

## ■利 益

利益については、附帯事業において、売上高の大幅な減少や、販売用不動産の評価損を計上したことなどから、経常利益は前年同期に比べ52.1%減少し48億円となり、当上半期の純利益は21億円となりました。

なお、有利子負債の残高は、前期末に比べ130億円減少し4,037億円となりました。

# 経営方針と重点施策

当社グループは、每期「経営3ヶ年計画」をローリングし、グループ全体の競争力、収益力の強化に努めています。21年度を初年度とする現行計画では、経営環境の悪化をふまえ、「長期的な景気後退に耐え得る経営体質づくりと果敢に挑戦する経営の推進」を経営方針とし、以下の施策

## ■競争力、収益力の向上

- ・民間工事の技術提案力、官公庁工事の総合評価方式への対応力強化
- ・受注段階からのリスク管理強化による工事採算の確保・向上
- ・リニューアル、ビルマネジメント等建設ストック市場への取り組み強化

## ■経営体質の強化

- ・工事原価、販売費及び一般管理費、金融費用等、トータルコストの徹底した削減
- ・工事収支の改善、未収入金の早期回収等の取り組み強化による有利子負債の圧縮

## ■「ものづくり・ひとづくり」活動の推進

- ・生産体制の強化
- ・「よいものづくり」のための「ひとづくり」(人材育成)
- ・生産システム改革

## ■環境経営、CSR経営の実践

- ・CO<sub>2</sub>排出量削減目標「エコロジー・ミッション」に基づく地球環境に配慮した取り組みの推進
- ・コンプライアンスの徹底、品質と安全の確保を大前提とした価値ある建造物の提供
- ・公開講座「シミズ・オープン・アカデミー」等、社会貢献活動の推進

を推進しています。

こうした取り組みを通じ、コーポレート・メッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」に込めた想いを、役員・従業員全員が日常の諸活動の中で実践し、企業ブランドの更なる向上を図ってまいります。



# 会社概況／株式の状況

(平成21年9月30日現在)

創 業 文化元年(1804年)  
資 本 金 743億円  
売 上 高 1兆6,930億円(平成21年3月期)  
代 表 者 取締役社長 宮本 洋一  
従業員数 11,191名

※本報告書から、契約社員を総数に加えて記載しております。

## ■主要な営業所等

本 社 東京都港区芝浦一丁目2番3号  
東京建築第一事業部(東京都港区) 関 東 支 店(さいたま市)  
東京建築第二事業部(東京都港区) 名 古 屋 支 店(名古屋市)  
東京建築第三事業部(東京都港区) 広 島 支 店(広島市)  
横 浜 支 店(横浜市) 九 州 支 店(福岡市)  
千 葉 支 店(千葉市) 土 木 東 京 支 店(東京都港区)  
大 阪 支 店(大阪市) 土 木 横 浜 支 店(横浜市)  
神 戸 支 店(神戸市) 国 際 支 店(シンガポール)  
四 国 支 店(高松市) 投 資 開 発 本 部(東京都港区)  
北 海 道 支 店(札幌市) エンジニアリング事業本部(東京都港区)  
東 北 支 店(仙台市) 技 術 研 究 所(東京都江東区)  
北 陸 支 店(金沢市)

## ■海外営業網

|     |          |        |        |
|-----|----------|--------|--------|
| 大 連 | ハノイ      | ダッカ    | ニューヨーク |
| 上 海 | ホーチミン    | ニューデリー | アトランタ  |
| 広 州 | バンコク     | タシセント  | ティファナ  |
| 香 港 | クアラルンプール | ドバイ    |        |
| 台 北 | シンガポール   | トルン    |        |
| マニラ | ジャカルタ    | ブラハ    |        |

## ■株式の状況

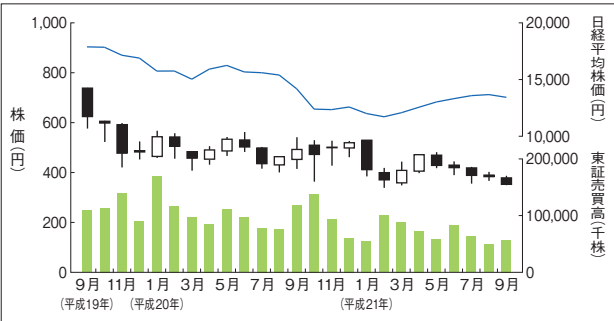
発行可能株式総数 1,500,000,000株  
発行済株式の総数 788,514,613株  
株主数 51,918名

## ■大株主の状況

| 株主名                        | 持株数<br>(千株) | 出資比率<br>(%) |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 清水地所株式会社                   | 60,129      | 7.7         |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 44,078      | 5.6         |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 41,367      | 5.3         |
| 社会福祉法人 清水基金                | 38,100      | 4.9         |
| 清水建設持株会                    | 19,950      | 2.5         |
| 財団法人 住宅総合研究財団              | 17,420      | 2.2         |
| 株式会社 みずほコーポレート銀行           | 16,197      | 2.1         |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 14,055      | 1.8         |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 11,393      | 1.5         |
| 第一生命保険相互会社                 | 10,564      | 1.4         |

※出資比率は、自己株式(2,182千株)を控除して計算しております。

## ■株価及び売買高の推移



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（要旨）

| 科 目            | 当上半期末<br>平成21年9月30日現在 | 前期末<br>平成21年3月31日現在 | 増 減     |
|----------------|-----------------------|---------------------|---------|
| （資産の部）         |                       |                     |         |
| 流動資産           | 13,190                | 15,774              | △ 2,584 |
| 現金預金           | 1,907                 | 1,932               | △ 25    |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 4,002                 | 5,689               | △ 1,687 |
| 有価証券           | 390                   | 350                 | 40      |
| 未成工事支出金        | 4,528                 | 5,200               | △ 672   |
| たな卸不動産         | 602                   | 711                 | △ 109   |
| PFI事業等たな卸資産    | 806                   | 654                 | 151     |
| その他            | 975                   | 1,263               | △ 287   |
| 貸倒引当金          | △ 23                  | △ 27                | 4       |
| 固定資産           | 4,750                 | 4,100               | 650     |
| 有形固定資産         | 2,298                 | 1,847               | 451     |
| 無形固定資産         | 42                    | 28                  | 13      |
| 投資その他の資産       | 2,409                 | 2,224               | 184     |
| 投資有価証券         | 2,249                 | 2,001               | 248     |
| その他            | 243                   | 295                 | △ 51    |
| 貸倒引当金          | △ 83                  | △ 71                | △ 11    |
| 資産合計           | 17,940                | 19,875              | △ 1,934 |

### （資産の部）

有形固定資産や投資有価証券などが増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等や未成工事支出金などの減少により、資産合計は、1兆7,940億円となり、前期末に比べ1,934億円減少しました。

備考：金額の億円未満は、切捨て表示しております。

（単位：億円）

| 科 目                         | 当上半期末<br>平成21年9月30日現在 | 前期末<br>平成21年3月31日現在 | 増 減     |
|-----------------------------|-----------------------|---------------------|---------|
| （負債の部）                      |                       |                     |         |
| 流動負債                        | 11,117                | 13,030              | △ 1,913 |
| 支払手形・工事未払金等                 | 3,403                 | 4,643               | △ 1,239 |
| 短期借入金                       | 2,096                 | 1,966               | 130     |
| 1年内返済予定の<br>プロジェクトファイナンス借入金 | 190                   | 189                 | 0       |
| 未成工事受入金                     | 4,055                 | 4,770               | △ 715   |
| 完成工事補償引当金                   | 30                    | 32                  | △ 1     |
| 工事損失引当金                     | 423                   | 423                 | 0       |
| その他                         | 916                   | 1,004               | △ 87    |
| 固定負債                        | 3,643                 | 3,798               | △ 155   |
| 社債                          | 1,000                 | 1,000               | —       |
| 長期借入金                       | 1,262                 | 1,450               | △ 187   |
| プロジェクトファイナンス借入金             | 296                   | 307                 | △ 10    |
| 退職給付引当金                     | 559                   | 563                 | △ 3     |
| 関連事業損失引当金                   | 30                    | 30                  | △ 0     |
| その他                         | 494                   | 446                 | 47      |
| 負債合計                        | 14,761                | 16,829              | △ 2,068 |
| （純資産の部）                     |                       |                     |         |
| 株主資本                        | 2,579                 | 2,586               | △ 7     |
| 資本金                         | 743                   | 743                 | —       |
| 資本剰余金                       | 431                   | 431                 | △ 0     |
| 利益剰余金                       | 1,418                 | 1,425               | △ 6     |
| 自己株式                        | △ 15                  | △ 15                | △ 0     |
| 評価・換算差額等                    | 526                   | 362                 | 164     |
| 少数株主持分                      | 74                    | 97                  | △ 23    |
| 純資産合計                       | 3,179                 | 3,045               | 133     |
| 負債純資産合計                     | 17,940                | 19,875              | △ 1,934 |
| 1株当たり純資産額                   | 395.56円               | 375.56円             |         |

### （負債の部）

支払手形・工事未払金等や未成工事受入金などの減少により、負債合計は、1兆4,761億円となり、前期末に比べ2,068億円減少しました。

### （純資産の部）

株式相場の上昇に伴う評価・換算差額等の増加などにより、純資産合計は、3,179億円となり、前期末に比べ133億円増加しました。

連結損益計算書（要旨）

（単位：億円）

| 科 目            | 当上半期<br>平成21年4月1日から<br>平成21年9月30日まで | 前年同期<br>平成20年4月1日から<br>平成20年9月30日まで | 前年同期比   |
|----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| 売上高            | 7,085                               | 8,029                               | △ 11.8% |
| 完成工事高          | 6,738                               | 7,091                               | △ 5.0%  |
| 開発事業等売上高       | 347                                 | 937                                 | △ 63.0% |
| 売上原価           | 6,694                               | 7,586                               |         |
| 完成工事原価         | 6,351                               | 6,766                               |         |
| 開発事業等売上原価      | 342                                 | 820                                 |         |
| 売上総利益          | 391                                 | 442                                 | △ 11.5% |
| 完成工事総利益        | 386                                 | 325                                 | 18.7%   |
| 開発事業等総利益       | 4                                   | 116                                 | △ 95.8% |
| 販売費及び一般管理費     | 340                                 | 334                                 |         |
| 営業利益           | 51                                  | 108                                 | △ 52.6% |
| 営業外収益          | 47                                  | 49                                  |         |
| 営業外費用          | 43                                  | 44                                  |         |
| 経常利益           | 55                                  | 112                                 | △ 50.6% |
| 特別利益           | 5                                   | 1                                   |         |
| 特別損失           | 10                                  | 10                                  |         |
| 税金等調整前当期純利益    | 50                                  | 104                                 | △ 51.3% |
| 法人税等           | 33                                  | 51                                  |         |
| 少数株主利益または損失(△) | △ 03                                | 0                                   |         |
| 当期純利益          | 20                                  | 52                                  | △ 60.7% |
| 1株当たり当期純利益     | 2.61円                               | 6.63円                               |         |

売上高は、完成工事高、開発事業等売上高ともに減少し、7,085億円となり、前年同期に比べ11.8%の減収となりました。

売上総利益は、完成工事総利益は増加しましたが、開発事業等総利益が大幅に減少したことにより、前年同期に比べ11.5%減少し、391億円となりました。

経常利益は55億円、特別損益や法人税等を加減した当期純利益は20億円となりました。

なお、特別損失には、保有株式の減損による損失10億円などを計上しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：億円）

| 科 目              | 当上半期<br>平成21年4月1日から<br>平成21年9月30日まで | 前年同期<br>平成20年4月1日から<br>平成20年9月30日まで | 増 減   |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 2,282                               | 2,143                               | 139   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 210                                 | △ 903                               | 1,114 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 111                               | △ 48                                | △ 62  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 95                                | 172                                 | △ 268 |
| その他の増減額          | 11                                  | △ 12                                | 23    |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 14                                  | △ 791                               | 806   |
| 現金及び現金同等物の上半期末残高 | 2,297                               | 1,351                               | 946   |

営業活動によるキャッシュ・フローは、工事関係立替金の回収が進んだ結果、前年同期に比べ大幅に改善し、210億円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、賃貸事業用資産の取得などにより、111億円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済などにより、95億円の資金減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当上半期末の残高は、前期末に比べ14億円増加し、2,297億円となりました。

# 単体財務諸表

## 貸借対照表（要旨）

| 科 目      | 当上半期末<br>平成21年9月30日現在 | 前期末<br>平成21年3月31日現在 | 増 減     |
|----------|-----------------------|---------------------|---------|
| （資産の部）   |                       |                     |         |
| 流動資産     | 11,312                | 13,458              | △ 2,146 |
| 現金預金     | 1,700                 | 1,619               | 81      |
| 受取手形     | 267                   | 463                 | △ 195   |
| 完成工事未収入金 | 3,637                 | 4,762               | △ 1,124 |
| 有価証券     | 390                   | 350                 | 40      |
| 販売用不動産   | 270                   | 224                 | 46      |
| 未成工事支出金  | 4,220                 | 4,919               | △ 698   |
| その他      | 844                   | 1,144               | △ 300   |
| 貸倒引当金    | △ 19                  | △ 24                | 4       |
| 固定資産     | 4,294                 | 3,856               | 438     |
| 有形固定資産   | 1,632                 | 1,387               | 245     |
| 無形固定資産   | 33                    | 19                  | 14      |
| 投資その他の資産 | 2,628                 | 2,449               | 178     |
| 投資有価証券   | 2,094                 | 1,845               | 248     |
| その他      | 616                   | 675                 | △ 58    |
| 貸倒引当金    | △ 82                  | △ 70                | 11      |
| 資産合計     | 15,606                | 17,315              | △ 1,708 |

（単位：億円）

| 科 目       | 当上半期末<br>平成21年9月30日現在 | 前期末<br>平成21年3月31日現在 | 増 減     |
|-----------|-----------------------|---------------------|---------|
| （負債の部）    |                       |                     |         |
| 流動負債      | 9,951                 | 11,709              | △ 1,758 |
| 支払手形      | 274                   | 350                 | △ 76    |
| 工事未払金     | 2,737                 | 3,694               | △ 956   |
| 短期借入金     | 1,826                 | 1,819               | 6       |
| 未成工事受入金   | 3,547                 | 4,289               | △ 742   |
| 完成工事補償引当金 | 30                    | 32                  | △ 1     |
| 工事損失引当金   | 411                   | 405                 | 6       |
| その他       | 1,123                 | 1,117               | 5       |
| 固定負債      | 3,118                 | 3,222               | △ 103   |
| 社債        | 1,000                 | 1,000               | —       |
| 長期借入金     | 1,211                 | 1,348               | △ 136   |
| 退職給付引当金   | 514                   | 518                 | △ 4     |
| 関連事業損失引当金 | 32                    | 32                  | —       |
| その他       | 360                   | 323                 | 37      |
| 負債合計      | 13,069                | 14,931              | △ 1,862 |
| （純資産の部）   |                       |                     |         |
| 株主資本      | 1,982                 | 1,988               | △ 5     |
| 資本金       | 743                   | 743                 | —       |
| 資本剰余金     | 431                   | 431                 | △ 0     |
| 利益剰余金     | 818                   | 824                 | △ 5     |
| 自己株式      | △ 11                  | △ 10                | △ 0     |
| 評価・換算差額等  | 554                   | 394                 | 159     |
| 純資産合計     | 2,536                 | 2,383               | 153     |
| 負債純資産合計   | 15,606                | 17,315              | △ 1,708 |
| 1株当たり純資産額 | 322.63円               | 303.07円             |         |

備考：金額の億円未満は、切捨て表示しております。

損益計算書（要旨）

（単位：億円）

| 科 目        | 当上半期                        | 前年同期                        | 前年同期比   |
|------------|-----------------------------|-----------------------------|---------|
|            | 平成21年4月1日から<br>平成21年9月30日まで | 平成20年4月1日から<br>平成20年9月30日まで |         |
| 売上高        | 6,647                       | 7,152                       | △ 7.1%  |
| 完成工事高      | 6,543                       | 6,664                       | △ 1.8%  |
| 附帯事業売上高    | 103                         | 487                         | △ 78.8% |
| 売上原価       | 6,328                       | 6,801                       |         |
| 完成工事原価     | 6,213                       | 6,389                       |         |
| 附帯事業売上原価   | 115                         | 411                         |         |
| 売上総利益      | 318                         | 351                         | △ 9.3%  |
| 完成工事総利益    | 330                         | 274                         | 20.4%   |
| 附帯事業総利益    | △ 11                        | 76                          | —       |
| 販売費及び一般管理費 | 278                         | 271                         |         |
| 営業利益       | 40                          | 79                          | △ 49.4% |
| 営業外収益      | 45                          | 59                          |         |
| 営業外費用      | 37                          | 37                          |         |
| 経常利益       | 48                          | 101                         | △ 52.1% |
| 特別利益       | 5                           | 1                           |         |
| 特別損失       | 10                          | 10                          |         |
| 税引前当期純利益   | 43                          | 92                          | △ 53.0% |
| 法人税等       | 21                          | 33                          |         |
| 当期純利益      | 21                          | 58                          | △ 62.9% |
| 1株当たり当期純利益 | 2.77円                       | 7.46円                       |         |

■中間配当について

1. 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
  当社普通株式1株につき 金3円50銭  総額2,752百万円
2. 剰余金の配当が効力を生じる日  
  平成21年12月3日

受注（契約）高・売上高・繰越高の内訳

（単位：億円）

| 区 分  | 前期繰越高  | 当上半期<br>受注(契約)高 | 当上半期<br>売上高 | 次期繰越高  |
|------|--------|-----------------|-------------|--------|
| 建設事業 |        |                 |             |        |
| 建 築  | 10,273 | 3,800           | 5,395       | 8,679  |
| 土 木  | 4,819  | 1,044           | 1,148       | 4,715  |
| 計    | 15,093 | 4,845           | 6,543       | 13,394 |
| 附帯事業 | 392    | 82              | 103         | 371    |
| 合 計  | 15,486 | 4,927           | 6,647       | 13,766 |

建設事業受注高の内訳

（単位：億円）

| 区 分 | 当上半期<br>平成21年4月1日から<br>平成21年9月30日まで | 前年同期<br>平成20年4月1日から<br>平成20年9月30日まで | 増 減     |
|-----|-------------------------------------|-------------------------------------|---------|
| 建 築 |                                     |                                     |         |
| 国 内 | 3,649                               | 5,243                               | △ 1,593 |
| 海 外 | 150                                 | 427                                 | △ 276   |
| 計   | 3,800                               | 5,671                               | △ 1,870 |
| 土 木 |                                     |                                     |         |
| 国 内 | 881                                 | 1,065                               | △ 183   |
| 海 外 | 163                                 | 40                                  | 122     |
| 計   | 1,044                               | 1,105                               | △ 60    |
| 合 計 |                                     |                                     |         |
| 国 内 | 4,531                               | 6,308                               | △ 1,777 |
| 海 外 | 314                                 | 468                                 | △ 154   |
| 計   | 4,845                               | 6,776                               | △ 1,931 |

# トピックス

初代喜助から200余年

## 伝統建築の技と心を今に継承

江戸後期の1804年、当社の初代・清水喜助は江戸神田鍛冶町で創業しました。宮大工であった喜助の技と心は、人から人へ、200余年にわたって継承され、現在も神社仏閣などの伝統建築の建設は当社事業の大きな柱の一つになっています。

### 初代は誰もが認める町方棟梁

初代喜助は、創業前に日光東照宮の修理工事、創業後には江戸城西の丸の再建工事、高田八幡宮（通称：穴八幡宮）の隨身門を手掛けるとともに、寛永寺や浅草寺の御用達大工としても活躍。衆目が認める町方棟梁でした。その功績を土台に、当社では創業から今日まで、全国の著名な神社仏閣を多数手掛けてきました。

### 国宝など重要な文化財の保存、再生に貢献

近年を代表するエポックは、1,300余年もの歴史を持つ文化遺産、法輪寺三重塔の再建工事です。工事の職方の頭は、

#### 【語句の解説】

伝統建築：日本の国土と文化の中で育まれた「木割」「規矩」「継手・仕口」といった技術を用いてつくられた社寺建築、数寄屋建築などの木造建築

木 割：社寺全体のプロポーションを決める技術

規 矩：屋根廻りの形状を描く技術

継 手：木材を直線的に接合する加工方法

仕 口：木材と木材が交差する部位の加工方法

手斧初めちょうな：工事の安全成就を祈願して、新年の仕事始め、または大工が工事にとりかかる最初の日に行う儀式



初代喜助が手掛けた高田八幡宮隨身門（1945年焼失）とその立面図

宮大工棟梁として名を馳せた故・西岡常一氏。西岡氏との協働を通じて、当社は「木本来の持つ癖とその生命力を存分に活かすことの大切さ」、「千年後まで耐える建築にするための技術」を学びました。

この経験を大きな糧として、以後、神社仏閣の修復を多数行い、最近では大崎八幡宮本殿、石の間、拝殿保存修復など、国宝や重要文化財の保存、再生工事においても、伝統の技を発揮しています。



1911（明治44）年当時の手斧（ちょうな）初め式の様子

## 当社が手掛けた 主な伝統建築



### 法輪寺三重塔

古代飛鳥三塔の一つと言われたが1944年に落雷で焼失。その31年後に往時の姿に再建した。



### 平安神宮大極殿

延暦の盛時を偲ぶ大極殿の復古を主に、平安神宮全体を造営。伝統構法を金物で補強する構造が採用されている。



〈国宝〉大崎八幡宮本殿、石の間、拝殿 保存修復社殿は、400年前に伊達政宗が建てた桃山時代を代表する建造物。それを5年がかりで解体修理した。



### 金刀比羅宮社務所 神札授与所

軸部を鉄骨、屋根廻りを伝統木造とし、縋破風(すがはふ)付きの入母屋根が松皮で葺かれ、優美な姿を造り出した。



### 明治神宮神楽殿

8本の柱で構成した鉄骨造の覆屋の中に伝統木造の神楽殿を建立。外壁廻りは総ガラス張りとしている。



### 穴八幡宮随神門

軒廻りデザインを初めてCAD化。また、実大実験の成果を基に、軸部に金物を使用しない伝統構法とした。



### 首里城正殿

戦災で焼失した琉球王朝の王宮を復元。総桧造りで、外壁を朱塗りし、瓦葺きとした。



### 靖国神社参集殿

伝統の技と現代技術を融合、構造は鉄骨造、表現は伝統木造に徹して、耐久性・耐震性の向上を図った。



### 伊勢神宮外宮神楽殿

鉄骨造ながらも伝統木造の意匠を実現し、部材の更新可能なシステムを確立させ、神宮の柱に溶け込ませた。



### 日枝神社社殿、山王夢御殿

社殿及び隣接する山王夢御殿(祈祷殿)は、正面意匠に統一性を持たせ、外観の調和を図っている。



### 湯島天満宮社殿

防火地域に建設した国内初の伝統木造建築。正面妻入権現造りの社殿を樹齢250年の木曽桧で造営した。

# CSRへの取り組み

ものづくりの楽しさを次世代に伝える

## トンネル工事で子どもたちとの学習交流を実施

長期間にわたって行われる土木工事では、周辺地域の方々の理解と協力が欠かせません。そのため、建設現場では見学会を開催するなど、工事を知ってもらう機会を設けています。2009年3月に竣工した八王子南バイパス浅川トンネル工事では、地域の小学校（八王子市立館小学校）と約2年間にわたり学習交流を行いました。

### 出前授業で理解を深め、実際にトンネルを見学

通常、子どもたちがトンネル工事に接する機会はほとんどありません。小学校から現場見学の要請があったとき、見学会だけでなく、子どもたちに道路建設の大切さやトンネルの掘り方をより深く理解してもらおうと、発注者の国土交通省とともに学習交流を企画しました。

はじめに、工事長による出前授業を行い、どのようにトンネルができるのか、何のためにトンネルをつくるのかについて、映像を用いてわかりやすく説明しました。次の現場見学

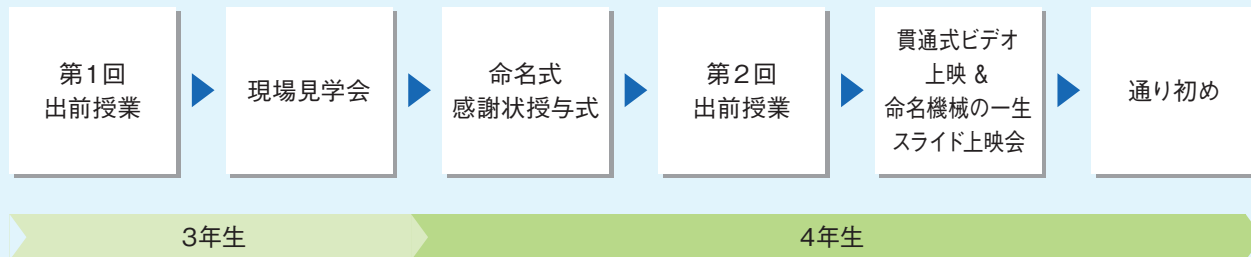
会では、重機の乗車体験や掘削機械のデモンストレーションを行ったり、後日、その掘削機械に子どもたちに名前をつけてもらうなど、土木工事に親しみを持てる内容としました。

トンネル貫通後には、2回目の出前授業を行い、命名した掘削機械の組み立ての様子や、トンネル貫通の瞬間を収めた映像を上映しました。最後に、貫通後のトンネルを初めて通るお客様として、バスに乗ってトンネル内部を見学。子どもたちにとっては、約2年にわたり繰り返し学ぶことで、思い出深い貴重な経験となりました。

### 地域安全ボランティアとしても活動

工事期間中は、現場周辺の清掃や除雪、災害時復旧作業の協力などを通じて、地域住民の方々とも積極的に交流を図りました。また、子どもが危険を察知した際の避難場所として、現場周辺に「こどもSOSステーション」を設置するなど、地域安全ボランティアとしての活動も行いました。

### 《約2年間の学習交流の流れ》



## 出前授業



出前授業で映像を見る子どもたち。工事の担当者が子どもたちに向けてメッセージを送りました

さて、本題です。

### 5つのぎもん

- ・八王子南バイパスはどこからどこまで？
- ・何のために作るの？
- ・トンネルができればどうなるの？
- ・浅川トンネルはどこ？
- ・いつできるの？



出前授業で子どもたちに提示されたスライドの一部。事前に子どもたちにトンネル工事で知りたいことを聞き、それに答える形で授業内容を構成しました

## 現場見学会



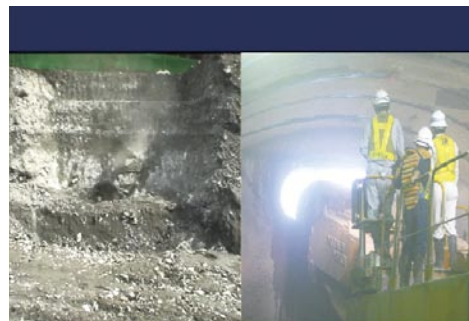
現場見学会での重機の乗車体験。子どもたちは機械の大きさと動く音に驚いていました

## 命名式



掘削機の命名式の後、感謝状の授与式を実施。掘削機の名前は「グルグル君」と「ゴリゴリ君」に決定しました

## 上映会



トンネル外

トンネル内

貫通の瞬間をトンネルの外側と内側のカメラで迫力ある映像に編集し上映。子どもたちからは大きな歓声が上がりました

## 感想文



子どもたちが、トンネル工事で学んだことを「トンネルを調べよう」と題した冊子にまとめました

## こどもSOSステーション



こどもSOSステーションの様子。この活動は八王子市のホームページでも紹介されました

\*参考URL [https://www.city.hachioji.tokyo.jp/moshimo/bohan/volunteer/simizu\\_maeda.html](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/moshimo/bohan/volunteer/simizu_maeda.html)

# シミズのものづくり

## ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート

建物の建設はお客様にとってビッグプロジェクト。当社のものづくりは、そこにかけるお客様の熱い想いに共感することから始

まります。今回は、お客様の40周年記念事業となった「ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート」でのものづくりをご紹介します。



### ■工事概要

所在地：長崎県長崎市秋月町2-3

発注者：株式会社 メモリード

設計・監理：【本館・コテージ】隈研吾建築都市設計事務所

【レストラン棟】当社（監修：隈研吾建築都市設計事務所）

工期：2008年6月～2009年6月

ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート。本館の外壁は杉板張り、内部にも木をふんだんに取り入れ、周囲の自然環境となじむようにデザインされている



レストラン棟1階のバーラウンジ。屋外にはプールも併設されており、いずれの場所からも長崎の街並みが見渡せる



本館最上階にあるチャペルは全面ガラス張り。周囲の水盤越しに長崎港を望むと、双方の水面が一体化する



シンプルな内装とゆったりとしたスペースが特徴の客室。全客室がオーシャンビューとなっている

## お客様から



株式会社 メモリード  
常務取締役 吉田昌敬 様

大手建設会社には総じて、融通が利かない、冷たい、といったイメージを抱いていました。しかし、今回の工事でこちらからのさまざまな要望や相談に親身になって対応していただき、その印象が大きく変わりました。

特に池田工事長には、多様な意見をうまく調整しながらプロジェクトをまとめていただきました。関係者が一つのチームになれたのは、ひとえに工事長の“人間力”によるところが大きかったと思います。建設業は“人”で成り立つもの。今回、清水建設さんと接して、その思いを新たにしました。

## ものづくりの楽しさを改めて実感

建築家・隈研吾氏が設計した本館を施工するには、数多くの工夫が必要でした。例えば本館最上階、テラスに配したチャペルは全面ガラス張り。壁面の大判ガラスを取り込むのに、現場全員で知恵を絞りました。また、テラスの屋根をデザイン通りの厚さに抑えることにも苦労しましたが、その分達成感も大きく、見所の多いこの建物の中で一番気に入っています。

今回の工事では、デザインを形にする上での課題を施工メンバーが一丸となって考え、乗り越えるたびに、ものづくりの楽しさを改めて実感。現場に携わった関係者全員が同じ気持ちを共有していたと思います。



工事長 池田和久

## お客様の想いに現場の全員が共感

長崎港北側にある稲佐山中腹に位置する建設地は、“長崎の街の眺望が自分の庭のように楽しめる長崎で一番のロケーション”として、お客様自らが探し出した場所。その立地を生かしたホテルをつくることで、長崎の魅力づくりに貢献したい。今回のプロジェクトの根幹には、そうしたお客様の長崎に対する熱い想いがありました。

そのことに現場の全員が共感し、「よいものづくりでお客様の期待に応えたい」と想いを一つにして取り組めたこと。それが一番の誇りであり、当社の技術力でお客様の想いをしっかりと形にできたことが何よりの喜びです。



営業担当 恵崎隆爾

## 建物が姿を現したときの感動が忘れられない

入社後初めて携わる工事がお客様の記念事業ということで、当初から緊張の連続でした。最初に担当したコテージの外装工事では、不安もありましたが、職人さんと協力して工事をやりきることで、自分に自信が持てるようになりました。

工事の雰囲気に慣れてくると、職人さんとの会話や建物の形ができあがっていく様子を見るのが楽しくて、一日中現場にいてもよくありました。何より忘れられないのは、仮設の足場が外れて、建物の全貌が現れた瞬間の感動。これを励みに、次の工事でも自分をもっともっと成長させていきます。



施工担当 中嶋慶朗

# 株主メモ／お知らせ

## 株主メモ

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                             | 4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 定時株主総会                           | 6月                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 基準日                              | 定時株主総会の議決権 3月31日<br>期末配当金 3月31日<br>中間配当金 9月30日                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 株主名簿管理人                          | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 同事務取扱場所<br>(郵便物送付先及び<br>電話お問合せ先) | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)<br>ウェブサイト <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>                                                                                                                   |
| 公告掲載方法                           | 電子公告<br>公告掲載URL ( <a href="http://www.shimz.co.jp/">http://www.shimz.co.jp/</a> )<br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって<br>電子公告による公告を行うことができない<br>場合は、日本経済新聞に掲載して行います。                                                                                                                                                       |
| 株式に関する各種<br>お手続きについて             | <input type="checkbox"/> 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、<br>単元未満株式の買取請求その他各種<br>お手続きにつきましては、お取引の証券<br>会社にお問合せください。<br><input type="checkbox"/> 特別口座に記録された株式に関する<br>各種お手続きにつきましては、三菱UFJ<br>信託銀行(上記連絡先)にお問合せくだ<br>さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各<br>支店にてもお取次ぎいたします。<br><input type="checkbox"/> 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ<br>信託銀行本支店でお支払いいたします。 |

## お知らせ

### 配当金を郵便局窓口でお受取りの株主様へ

郵便局での配当金お受取りには、払渡期間があらかじめ定められており、支払開始日から満3年を経過すると、定款の規定により配当金をお支払することができません。

安心・確実に配当金をお受取りいただくため、ご指定の金融機関口座への振込によりお受取りいただくことをお勧めします。

ご指定手続き・お問合せ先は、次のとおりです。

#### ■証券会社にお持ちの株主様

お取引の証券会社

#### ■証券会社にお持ちでない株主様(特別口座の株主様)

三菱UFJ信託銀行 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

◎「配当金を口座振込により受け取りたい」とお伝えください

### 「証券会社の口座への振替のご案内」をお受取りになった株主様へ

「特別口座」は、株券電子化までに株券をほふりへ預託されなかった株主様の権利を保全するため、当社が株主様の名義で、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。当社は今年11月、特別口座の株主様へ「証券会社の口座への振替のご案内」をお送りしています。

特別口座に記録された株式を売買するためには、株主様が証券会社に開設した口座へ「振替」(株数等の記録を移す)手続きが必要になります。上記案内をご参照のうえ、お手続きされることをお勧めします。

※振替手数料無料

振替手続き・お問合せ先は、次のとおりです。

三菱UFJ信託銀行 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

◎「特別口座の株式を証券会社の口座へ振替したい」とお伝えください

## ホームページのご案内



<http://www.shimz.co.jp/>

当社ホームページでは、「株主・投資家情報」をはじめ、「実績・技術ソリューション」、「CSR活動」など、さまざまな情報を掲載しております。是非、ご覧ください。

表紙写真

日本経団連会館（東京都千代田区）

設計・監理／株式会社 日建設計

株式会社 三菱地所設計



清水建設株式会社

〒105-8007 東京都港区芝浦一丁目2番3号

TEL 03-5441-1111 (代表)

<http://www.shimz.co.jp/>

